

1 ねらい

- (1) 緊急地震速報が聞こえてからの適切な避難行動がとれるようにする。
- (2) あらゆる状況でも臨機応変に対応し、安全な避難行動をとれるようにする。
- (3) 放送をよく聞き、安全に指定された避難場所に避難できるようにする。

- 2 日時 平成24年12月12日(水) 掃除の時間～5校時(13:48～14:45)
雨天の場合：体育館への避難

学級活動1時間

3 実施計画

(1) 事前指導 (※資料2を参照)

学級活動で休み時間、調べ学習中、掃除の時間等でクラスが散らばっているときの基本行動について指導しておく。

室内では	<ol style="list-style-type: none"> ① 近くの教室へ ② 放送をよく聞き、近くの先生の指示に従う (並んではと言われたら小さい学年順で男女別二列) ※先生が来ない場合は、放送の指示に従い、安全に校庭に避難する。
校庭では	<ol style="list-style-type: none"> ① 校庭では遊びをやめて身を低くする ② 放送や近くの先生の指示に従う ③ 校庭中央に集まる (昇降口付近や飼育活動の子はその場で身を低くする)
共通理解事項	<ol style="list-style-type: none"> ① 慌てたり、怖がったりしてパニックを起こさないで「お・か・し・も・ち」を守る ② カーテンは地震前には閉め、火災発生後はなるべく開ける ③ ドア、窓は地震前には開け、火災発生後は閉める ④ まずは身を低くして頭を確保する ・自分の教室にいる場合は、自分の防災頭巾(頭巾がない場合は、硬い本などの頭を守れるものでも可)をかぶり校庭へ避難する ・場合によっては他の児童の防災ずきんを借りてもいい…訓練後に返す ・防災ずきんの返却ができるよう、学年・組・名前を明記しておく ⑤ 先生がいるときは先生の指示に従う ⑥ 先生がいない場合は、放送をよく聞き、自分で考えて行動する ⑦ 集合場所は校庭中央より後方 ⑧ 全員集まってきたら、火を見ないように体育小屋向きで、朝会隊形で男女別名簿順に並ぶ ※集合無言 ⑨ 火災の時は、煙を吸わないようにハンカチを口に当て、姿勢を低く保って避難するように指導する。 ⑩ 教室や特別教室からの避難経路の確認 ※児童に訓練の日にちと時刻は伝えないようにしておく。 ⑪ 体育館への避難経路は、基本的に集会に行くときの経路とするが、臨機応変に対応する。

(2) 当日の活動

【想定】掃除の時間に緊急地震速報が流れる。数秒後、地震が発生し、それに伴い給食室(雨天時：理科室)から火災が発生。自分の今いるところから校庭(雨天時は体育館)の集合場所に避難する。通路閉鎖等、通常とは異なる状況を想定し、放送の指示に従い臨機応変に対応する。

- ・避難方法： 第1次避難と直後の第2次避難
- ・避難経路： おおむね(A)を使用するが、安全な経路を通る
- ・避難場所： 校庭中間やや後方(男女別名簿順)
→朝会と同じ場所で、体育小屋向き
【事前に集合場所を提示しておく】
(雨天：体育館)

行動原則

お	(おさない)
か	(かけない)
し	(しゃべらない)
も	(もどらない)
ち	(ちかよらない)

【訓練の流れ】 (校庭への避難)

時刻	活動	●留意点
13:48	○ 緊急地震速報(教務部放送) ・震度6弱の地震想定(30秒後)	● 担任が職員室にいる場合は、基本的には、自教室に向かう。または、学年内で校庭に先に行って待機する係と、校舎内の避難誘導を受け持つ係等の役割分担をしておく。
13:50	○ 避難開始(教務部放送) 「給食室から火災が発生しました。校庭に避難します。近くの先生の指示に従いなさい。近くに先生がいない人は、安全に気を付け、校庭に移動してください。なお、○○○○(その場の指示)」(放送2回) ○ 通報(教頭先生) ・119番に火災の通報をする。	● 男女各一列計二列で並ぶ。(男女の人数に差が大きい場合はともかく二列で) ● 他クラスの児童が教室に避難している場合は、学年が小さい順に並ぶよう指示する。 ● 教室に教員が見あたらない場合は、近くの教員が自分たちの次に続くように声をかける。その際、 ドアを開け中まで入り、大声で「だれかいますか！」 など呼びかけ、 注意深く見るようにする。 ● 最終確認者は、ドア・窓を確実に閉め、避難出口も閉めて避難する。電気も消す。
13:55	○ 人員の確認 ・校庭後方に朝会隊形(体育小屋向き)男女別名簿順で各学級2列に並ぶ。 ・児童の人数を確認し報告する。(担任→学年主任→教頭・校長→消防職員)	● 不明者は担任が指導から情報を得つつ、教務部を中心に搜索する。 ● 担任の先生が当日いない場合、転出者や欠席・遅刻・早退者の情報を補充の先生が分かるようにしておく。
14:00	○ 指導講評 ・熊谷地方気象台の方(5分) ・春日部市消防署の方(5分)	
14:10	○ 校長先生のお話	
14:20	○ 教室に戻り事後指導 ・災害の放送が入ったとき、どこにいてどんな行動をとったか。どのように避難したか。集合したときは素早く協力的にできたか等、学級の児童の様子をとらえ、指導し、問題点を話合う。 ・アンケートをとる。	
14:35	○ 清掃場所の片づけ	※教室へは、各担任の先生の指示で戻る。 ※上履きの児童は、上履きを脱いで教室で拭く
14:45	○ 終了	※他の児童の防災ずきんを借りた児童は、翌日の休み時間などに責任を持って御礼を言って返しに行く。借りた学級が不安な場合は、学級担任に返却し、学級担任から借りた学級に返却する。

【雨天時：訓練の流れ】（体育館への避難）

時刻	活動	●留意点
13:48	<ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急地震速報（教務部放送） ・ 震度6弱の地震想定（30秒後） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 担任が職員室にいる場合は、基本的には、自教室に向かう。または、学年内で体育館に先に行って待機する係と、校舎内の避難誘導を受け持つ係等の役割分担をしておく。 ● 男女各一列計二列で並ぶ。（男女の人数に差が大きい場合はともかく二列で） ● 他クラスの児童が教室に避難している場合は、学年が小さい順に並ぶよう指示する。
13:50	<ul style="list-style-type: none"> ○ 避難開始（教務部放送） 「理科室から火災が発生しました。体育館の安全が確保されましたので、体育館に避難します。近くの先生の指示に従いなさい。近くに先生がいない人は、安全に気を付け、体育館に移動してください。なお、〇〇〇〇（その場の指示）」（放送2回） ○ 通報（教頭先生） ・ 119番に火災の通報をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教室に教員が見あたらない場合は、近くの教員が自分たちの次に続くように声をかける。その際、ドアを開け中まで入り、大声で「だれかいますか！」など呼びかけ、注意深く見るようにする。 ● 最終確認者は、ドア・窓を確実に閉め、避難出口も閉めて避難する。電気も消す。 ● 出席簿が教室にある場合は忘れずに（出席簿とは別に名簿を持っていると良い） ● 保健室や教室を離れている児童の確認 ● 体の不自由な児童への配慮も忘れない
13:55	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人員の確認 ・ 体育館に全校朝会隊形男女別名簿順で各学級2列に並ぶ。 ・ 児童の人数を確認し報告する。（担任→学年主任→教頭・校長→消防職員） ※たんぽぽ、ひまわりは5年の隣の入口側に並ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 不明者は担任が指導から情報を得つつ、教務部を中心に搜索する。 ● 担任の先生が当日いない場合、転出者や欠席・遅刻・早退者の情報を補充の先生が分かるようにしておく。
14:00	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導講評 ・ 熊谷地方気象台の方（5分） ・ 春日部市消防署の方（5分） 	
14:10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長先生のお話 	
14:20	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室に帰り事後指導 ・ 災害の放送が入ったとき、どこにいてどんな行動をとったか。どのように避難したか。集合したときは素早く協力的にできたか等、学級の指導の様子をとらえ、指導し、問題点を話合う。 ・ アンケートをとる。 	<p>※教室へは、各担任の先生の指示で戻る。</p> <p>※他の児童の防災ずきんを借りた児童は、翌日の休み時間などに責任を持って御礼を言って返しに行く。借りた学級が不安な場合は、学級担任に返却し、学級担任から借りた学級に返却する。</p>
14:35	<ul style="list-style-type: none"> ○ 清掃場所の片づけ 	
14:45	<ul style="list-style-type: none"> ○ 終了 	

(3) 事後指導

どこにおいて、どんな行動をとったか話し合い、万々に備えられるようにする。
避難の仕方を再確認し、万一の場合にも素早く安全に行動できるように指導する。

○地震が起きたときの行動の確認

- ・登下校の時の行動
- ・家にいるときの避難の場所
- ・誰が迎えに来るかの確認

○火災が起きた場合の避難行動の確認

○アンケートの実施

(4) 役割分担

校内放送→教務

関係諸機関への通報→教頭先生

避難状況・実態把握、お話→校長先生

救護→養護教諭

非常持ちだし（出席簿、引き渡しファイル、放送機器）→教務部

児童引率→基本的には各担任

※職員室に学年の担任が複数いる場合・・教室に向かいつつ避難誘導→_____）
校庭に向かって子どもを待ち指示する→_____）

※各階トイレの確認者

北校舎一階西（ 1年 先生） 東（ 先生）

北校舎二階西（ 2年 先生） 東（ 先生）

北校舎三階（ 先生 ）

南校舎一階（ 先生 ）

南校舎二階（ 先生 ）

南校舎三階（ 先生 ）

管理棟一階（ 先生 ）

管理棟二階（ 先生 ）

管理棟三階（ 先生 ）

※ 児童避難担当者

校庭にいる児童は教務、安全主任

昇降口にいる児童は、教務、

管理棟三階は _____ 先生、

管理棟二階は _____ 先生、

管理棟一階と保健室は養護教諭

算数ルームは _____ 先生が避難させる。

